

倫理委員会承認日～2021年3月31日の間に 当科においてご出産された患者様へ

—「子宮収縮時の子宮動脈血流波形に関する検討-自然陣痛発来例および子宮収縮薬
使用例を対象とした観察研究-」へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学産婦人科学1 中井祐一郎

研究分担者 川崎医科大学産婦人科学1 松本 良

1. 研究の概要

少子高齢化に伴い分娩数は減少していますが、高齢出産に伴い産科合併症も増加しており様々な分娩様式の選択が行われています。超音波検査による血流速度波形の評価が周産期領域に導入された以来40年余が経ちます。様々な血流を評価することで母児の状態の把握に繋がると考えられます。本研究では超音波検査にて子宮動脈抵抗の増大をきたす条件を明らかにすることを目的としています。その成果は誘発分娩における更なる安全性の向上に寄与するばかりか医学的事由以外の個々の妊娠女性の選好に基づく分娩の自由度を高めることは、妊娠・分娩によって身体的・社会的負担を強いられる女性の解放にも繋がるものと考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

倫理委員会承認日～2021年3月31日の間に川崎医科大学附属病院産婦人科においてご出産された方40名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2022年3月31日

3) 研究方法

倫理委員会承認日～2021年3月31日の間に当院においてご出産された方で、研究者が診療情報をもとに超音波所見のデータを選び、子宮動脈血流波形に関する分析を行い、子宮動脈血管抵抗について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、妊娠歴、家族歴、超音波所見、カルテ番号 等

5) 情報の保存

研究で得られた情報は、本研究のために使用され、論文等の発表から5年を経過した日の期間まで、川崎医科大学産婦人科学1教室で保管します。その後シュレッターにかけてファイルを削除し、完全に廃棄します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、（2021年9月30日までの間に）下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 産婦人科

氏名：中井祐一郎

電話：086-462-1111 内線 26513（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-462-7897

E-Mail：pikapika08594693@yahoo.co.jp

3. 資金と利益相反

本研究において資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。